

決算補足説明資料

FY24 3Q

2024年11月8日

ノーリツ鋼機株式会社
証券コード：7744（東証プライム市場）

NORITSU

Contents

1. FY24 3Q累計連結業績
2. FY24 通期連結業績予想
3. トピック

将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益から、その他の収益・費用を加減し、減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）を加えて算出しております。
連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

当期利益：親会社の所有者に帰属する四半期/当期利益

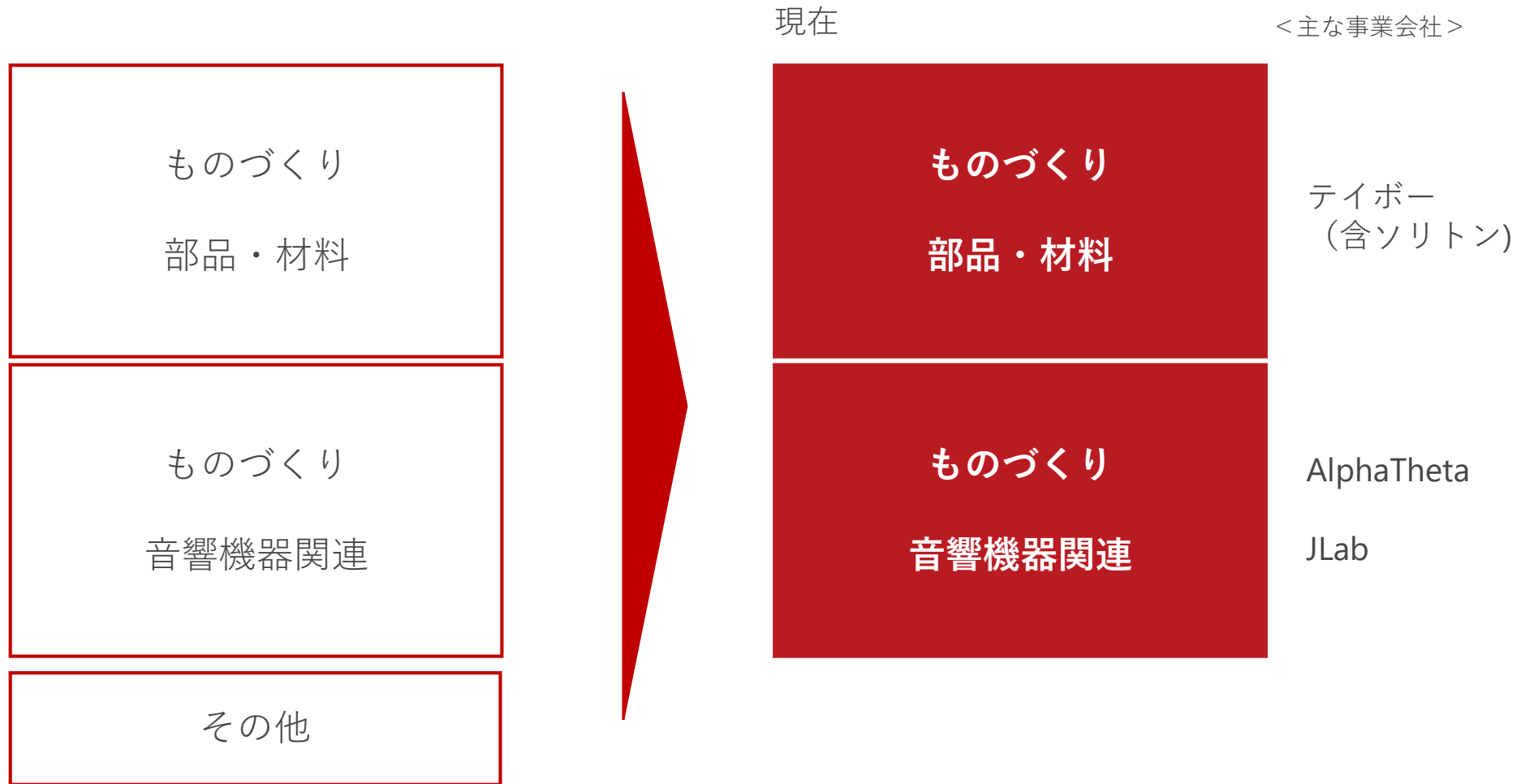
FY22：2022年12月期

FY23：2023年12月期

FY24：2024年12月期

■ セグメント変更について

- プリメディカの株式譲渡に伴い、FY24 2Qから「その他」のセグメントを廃止
- 廃止に伴い「その他」セグメントは前期から遡及して非継続事業に組み替えて表示



FY24 3Q累計 連結業績

- 売上収益は、音響機器関連事業の成長及び円安効果により増収
- 営業利益は、為替差損4億円を計上（前年同期は為替差益19億円）するも、増収及び収益性の向上等により増益
- 当期利益は、営業利益の増益やプリメディカの株式売却益等により増益

FY24 通期連結業績予想

- 8/9付修正予想に対し、テイボーのペン先事業の回復の遅れ及びAlphaThetaにおける一部製品の出荷停止により売上収益は△6億円に下方修正するものの、収益性の向上により営業利益は+12億円、当期利益は+8億円の上方修正
- AlphaThetaにおいて、10月に発売した新製品を含む、一部製品で不具合が発生し一時的に出荷を停止。11月下旬の出荷再開に向けて対応しているものの、遅延可能性等を考慮してFY24通期予想は保守的に試算し、本件に伴う売上収益を通期予想から除外（△14億円）。一方、為替の円安効果（+10億円）もあり、8/9付修正予想に対し、売上収益は△4億円の下方修正、事業EBITDAは粗利率の良化や費用の減少により、+10億円の上方修正。
- その他個社別では、テイボーは売上収益及び事業EBITDAともに下方修正、JLabは、売上収益及び事業EBITDAともに上方修正
- 配当性向40%以上とする目標に変わりはないが、現時点では配当予想の変更は行わない
- 中計FY25を1年前倒しで達成する見込みであることから、FY24通期連結決算発表時（2025年2月14日）に、次期中計を発表予定

Contents

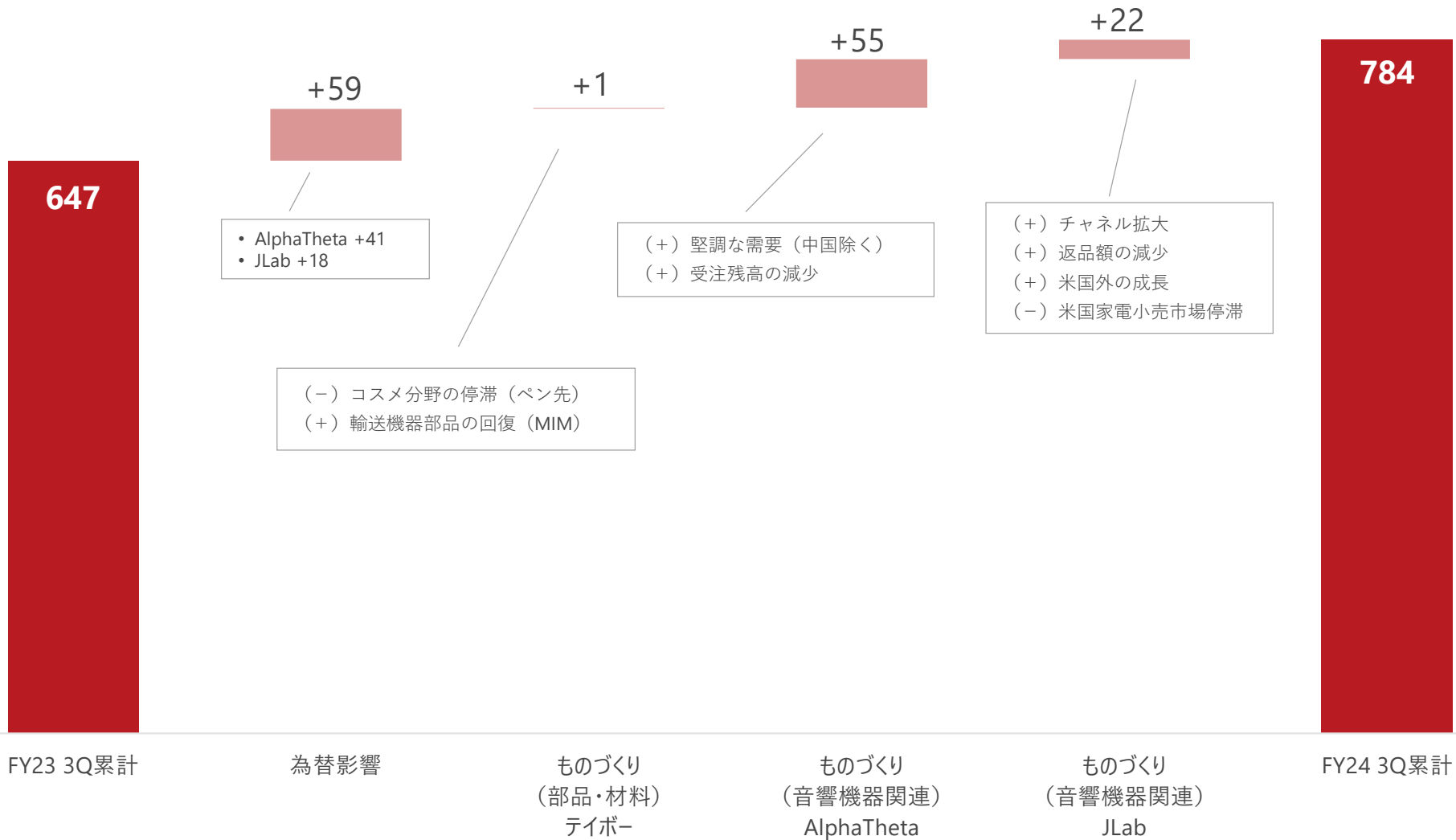
1. **FY24 3Q累計連結業績**
2. **FY24 通期連結業績予想**
3. **トピック**

- 売上収益は、音響機器関連事業の成長及び円安効果により増収
- 営業利益は、為替差損4億円を計上（前年同期は為替差益19億円）するも、増収及び収益性の向上等により増益
- 当期利益は、営業利益の増益やプリメディカの株式売却益等により増益

単位：百万円		FY23 3Q累計	FY24 3Q累計	増減額	増減率
売上収益		64,722	78,437	+13,715	+21.2%
事業EBITDA		13,628	20,119	+6,491	+47.6%
事業EBITDAマージン		21.1%	25.7%	+4.6%	-
営業利益		12,474	16,078	+3,603	+28.9%
当期利益		7,842	12,915	+5,073	+64.7%
為替レート (平均)	米ドル (円)	138.1	151.3	+13.2	-
	ユーロ (円)	149.6	164.4	+14.8	-
為替レート (期末)	米ドル (円)	149.6	142.7	△6.9	-
	ユーロ (円)	158.0	159.4	+1.4	-

対前年同期

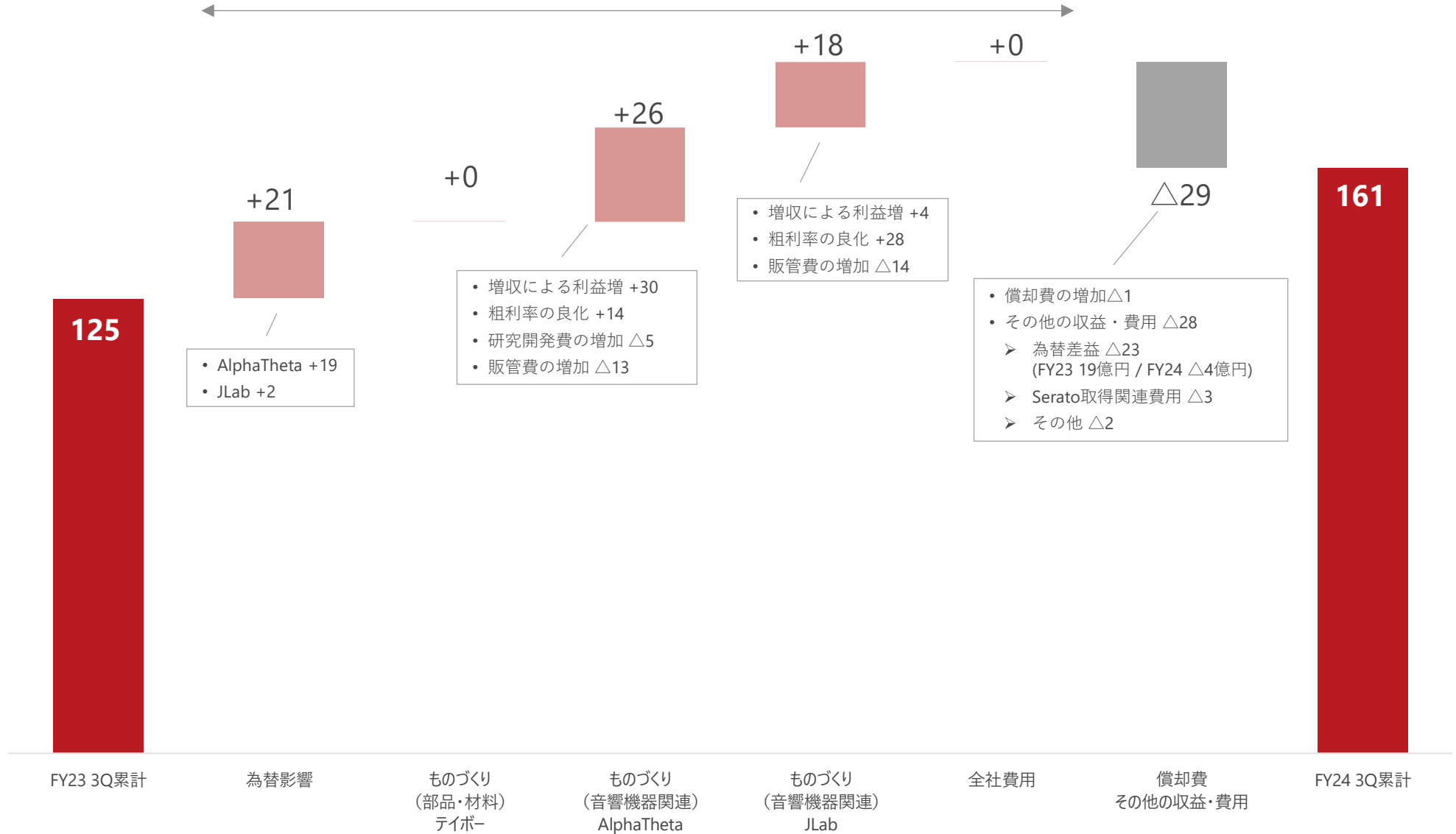
単位：億円



対前年同期

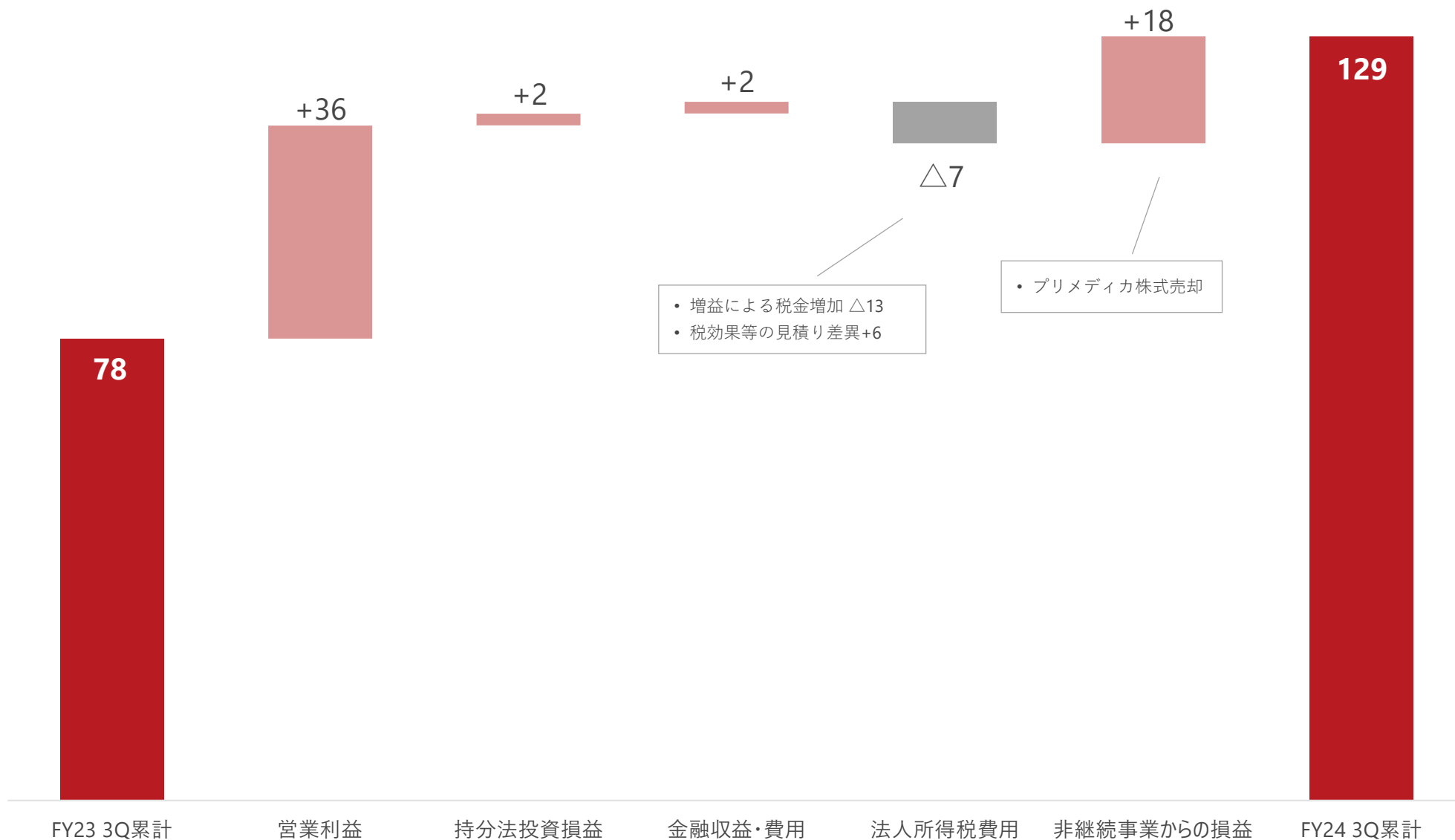
単位：億円

事業EBITDA +65



単位：億円

対前年同期



法人税等の還付もあり、現金及び現金同等物が増加

バランスシート

単位：百万円	FY23	FY24 3Q	増減額
現金及び現金同等物	70,190	88,221	① +18,030
売上債権及びその他の債権	14,683	15,111	+428
棚卸資産	17,164	20,056	+2,892
のれん	49,256	49,322	+65
無形資産	77,125	74,881	△2,243
その他資産	51,051	42,530	② △8,520
資産合計	279,471	290,124	+10,653
仕入債務及びその他の債務	6,454	7,527	+1,072
借入金	39,016	36,046	△2,970
その他負債	28,155	31,592	+3,437
負債合計	73,626	75,166	+1,539
資本合計	205,844	214,958	+9,114

主な増減要因

- ① 現金及び現金同等物 +180億円
 - ・ 営業CF +263億円
 - － 事業EBITDA +201億円
 - － 営業活動に係る資産・負債の増減 △26億円
 - － 法人所得税費用の支払額及び還付額+76億円
 - ・ 投資CF +14億円
 - ・ 財務CF △93億円
 - － 借入金の返済 △31億円
 - － 配当金の支払い △53億円
- ② その他資産 △85億円
 - ・ 未収還付法人税等 △103億円

財務健全性

有利子負債	39,016	36,046	△2,970
現金性資産	91,700	109,886	+18,185
Net Debt	△52,684	△73,839	△21,155

セグメント別業績は下記のとおり

単位：百万円		FY23 3Q累計	FY24 3Q累計	増減額	増減率
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	8,750	8,819	+69	+0.8%
	事業EBITDA	2,323	2,324	+1	+0.1%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	55,971	69,617	+13,645	+24.4%
	事業EBITDA	12,050	18,521	+6,471	+53.7%
AlphaTheta	売上収益	39,161	48,774	+9,612	+24.5%
	事業EBITDA	11,275	15,747	+4,472	+39.7%
JLab	売上収益	16,810	20,843	+4,032	+24.0%
	事業EBITDA	775	2,774	+1,998	+257.7%
全社費用	事業EBITDA	△745	△726	+19	-
連結合計	売上収益	64,722	78,437	+13,715	+21.2%
	事業EBITDA	13,628	20,119	+6,491	+47.6%

Contents

1. FY24 3Q累計連結業績
2. **FY24 通期連結業績予想**
3. トピック

8/9付修正予想からの主な変更点は下記のとおり

全事業共通

- 通期の為替前提を8/9付修正予想よりも円安の想定で、米ドル149.7円、ユーロ162.8円に変更（4Qは米ドル145円、ユーロ158円の想定）

ものづくり（部品・材料）/テイボー

- ペン先の筆記、コスメは停滞が続いており、下方修正

ものづくり（音響機器関連）/AlphaTheta

- 欧米を中心に堅調な需要環境が続くものの、10月に発売した新製品を含む、一部製品で不具合が発生し一時的に出荷を停止。11月下旬の出荷再開に向けて対応しているものの、遅延可能性等を考慮して通期予想は保守的に試算し、本件に伴う売上収益を通期予想から除外（影響額 売上収益△14億円、事業EBITDA △8億円）
- 保守的に織り込んでいた新製品開発費及び基盤強化費用等の見込額を更新

ものづくり（音響機器関連）/JLab

- 3Qは大手小売店への大口出荷が2Qに前倒しとなったことで2Qよりも落ち込むも、需要環境には変化がなく、4Qのホリデーシーズンも堅調に推移する見込みのため、売上収益は為替影響を除き据え置き
- 下半期にブランド認知向上のためのマーケティング費用を追加で投下するため販管費が増加

その他

- 中計FY25を1年前倒しで達成する見込みであることから、FY24通期連結決算発表時（2025年2月14日）に、次期中計を発表予定

(参考) AlphaTheta販管費・JLab マーケティング費用推移

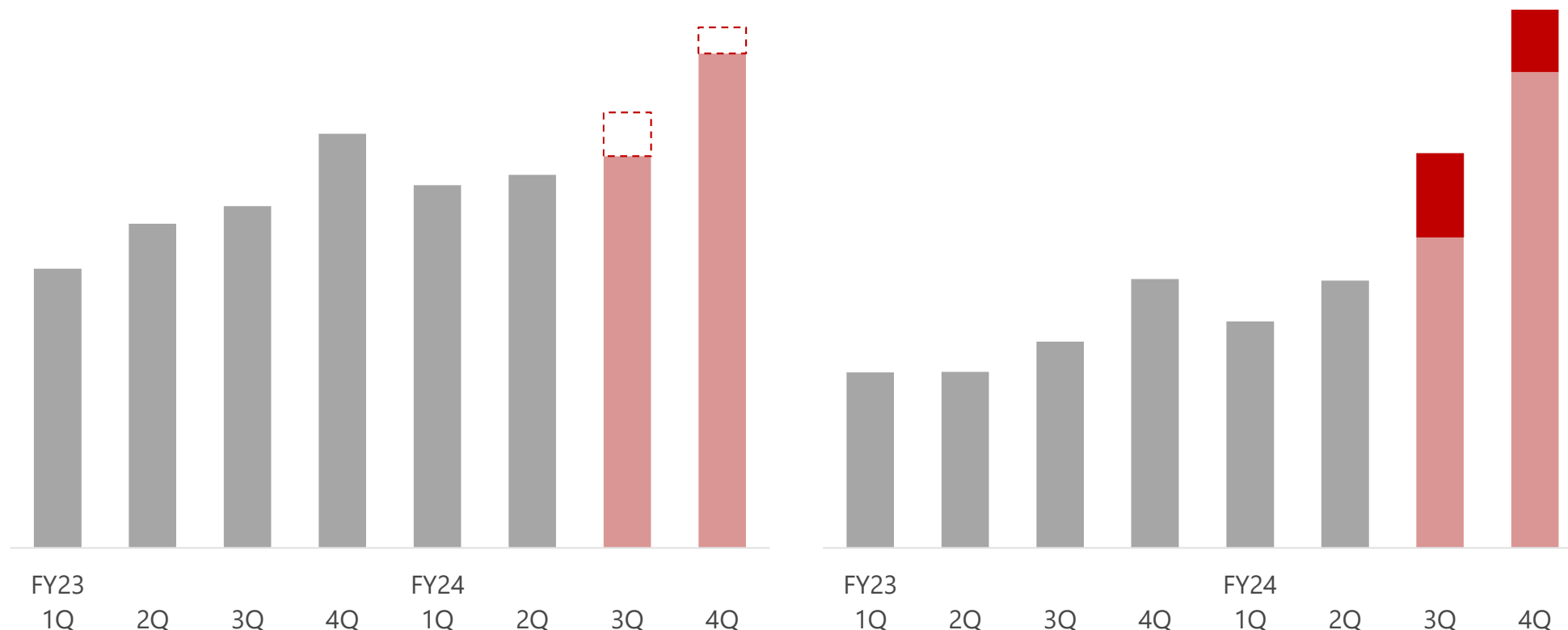
- AlphaThetaは、保守的に織り込んでいた新製品開発費及び基盤強化費用等の見込額を更新
- JLabは、ブランド認知向上のためのマーケティング費用を追加で投下

AlphaTheta 販管費（研究開発費含む）推移

JLab マーケティング費用推移

 8/9付修正予想からの減少分

 8/9付修正予想からの増加分



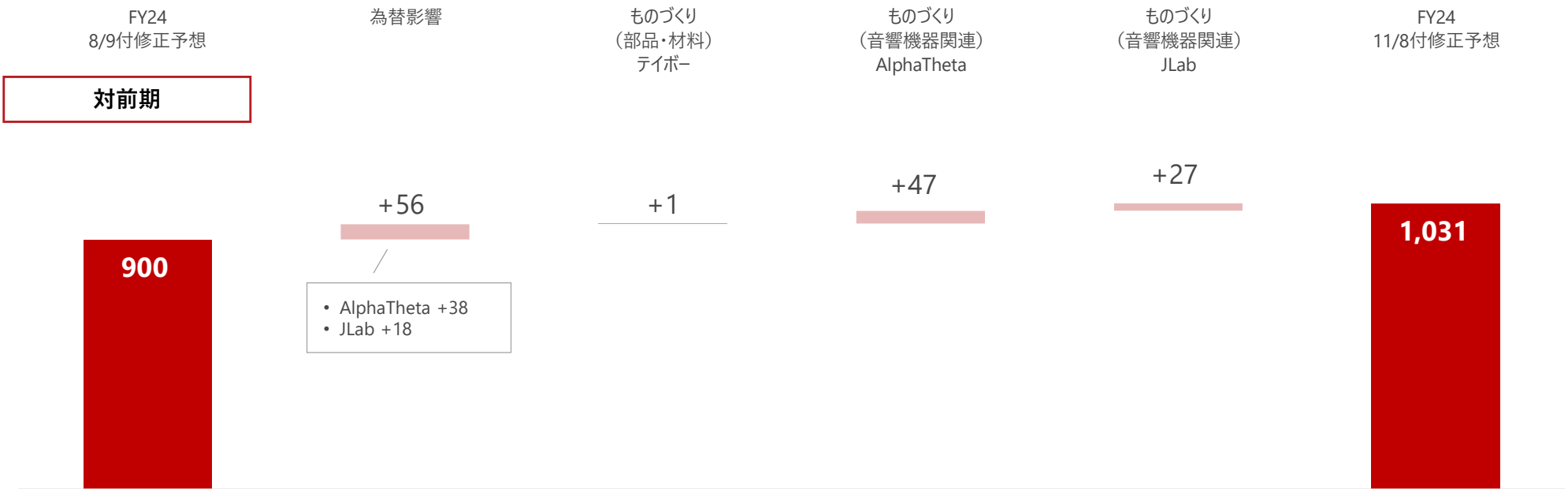
8/9付修正予想に対し、売上収益は△6億円に下方修正するものの、営業利益は+12億円、当期利益は+8億円の上方修正

単位：百万円	FY24 8/9付修正予想	FY24 11/8付修正予想	対8/9付修正予想	FY23	対前期	
売上収益	103,700	103,100	△600	90,052	+ 14.5%	
事業EBITDA	21,500	22,700	+1,200	17,696	+ 28.3%	
事業EBITDAマージン	20.7%	22.0%	+1.3%	19.7%	+2.3%	
営業利益	16,800	18,000	+1,200	14,388	+ 25.1%	
当期利益	13,000	13,800	+800	10,199	+35.3%	
為替レート (平均)	米ドル (円)	148.6	149.7	+1.1	140.6	+9.1
	ユーロ (円)	161.3	162.8	+1.5	152.0	+10.8
為替レート (期末)	米ドル (円)	145.0	145.0	-	141.8	+3.2
	ユーロ (円)	158.0	158.0	-	157.1	+0.9

- テイボーは、ペン先事業の回復の遅れ等を反映し売上収益、事業EBITDAともに下方修正
- AlphaThetaは、売上収益は、為替の円安効果があるものの、一部製品の出荷停止を反映して下方修正。事業EBITDAは、粗利率の良化や費用の減少を反映し上方修正
- JLabは、売上収益は為替影響を除いて変更なし。事業EBITDAは、マーケティング費用を追加で投下するものの、粗利率の良化を反映し上方修正

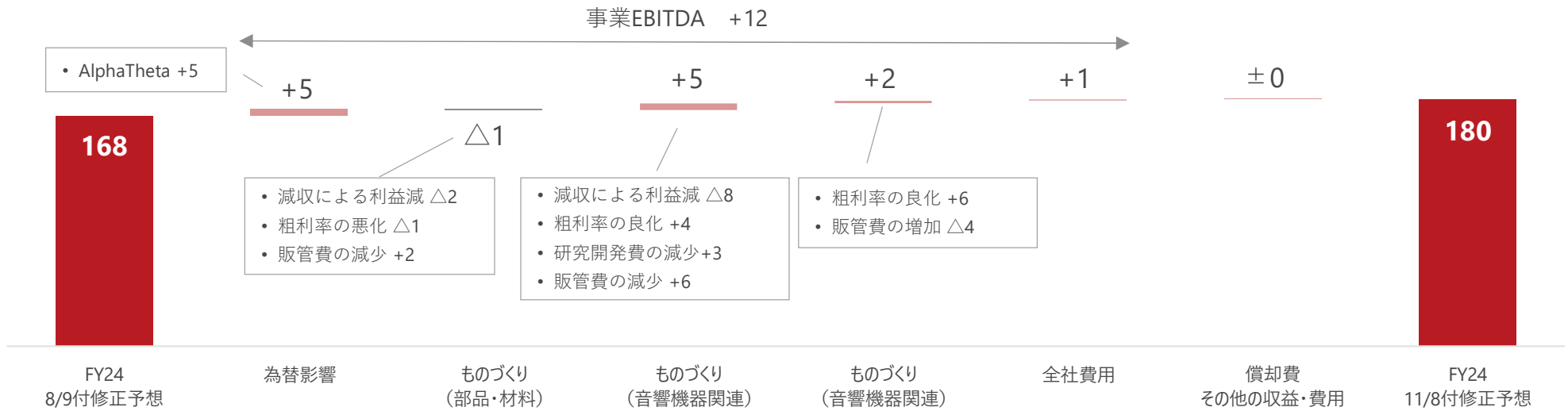
単位：百万円		FY24 8/9付修正予想	FY24 11/8付修正予想	対8/9付修正予想	FY23	対前期
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	12,200	11,900	△300	11,781	+1.0%
	事業EBITDA	3,200	3,100	△100	3,198	△3.1%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	91,500	91,200	△300	78,270	+16.5%
	事業EBITDA	19,600	20,800	+1,200	15,814	+31.5%
AlphaTheta	売上収益	60,800	60,400	△400	51,930	+16.3%
	事業EBITDA	15,700	16,700	+1,000	13,352	+25.1%
JLab	売上収益	30,700	30,800	+100	26,340	+16.9%
	事業EBITDA	3,900	4,100	+200	2,462	+66.5%
全社費用	事業EBITDA	△1,300	△1,200	+100	△1,316	-
連結合計	売上収益	103,700	103,100	△600	90,052	+14.5%
	事業EBITDA	21,500	22,700	+1,200	17,696	+28.3%

単位：億円

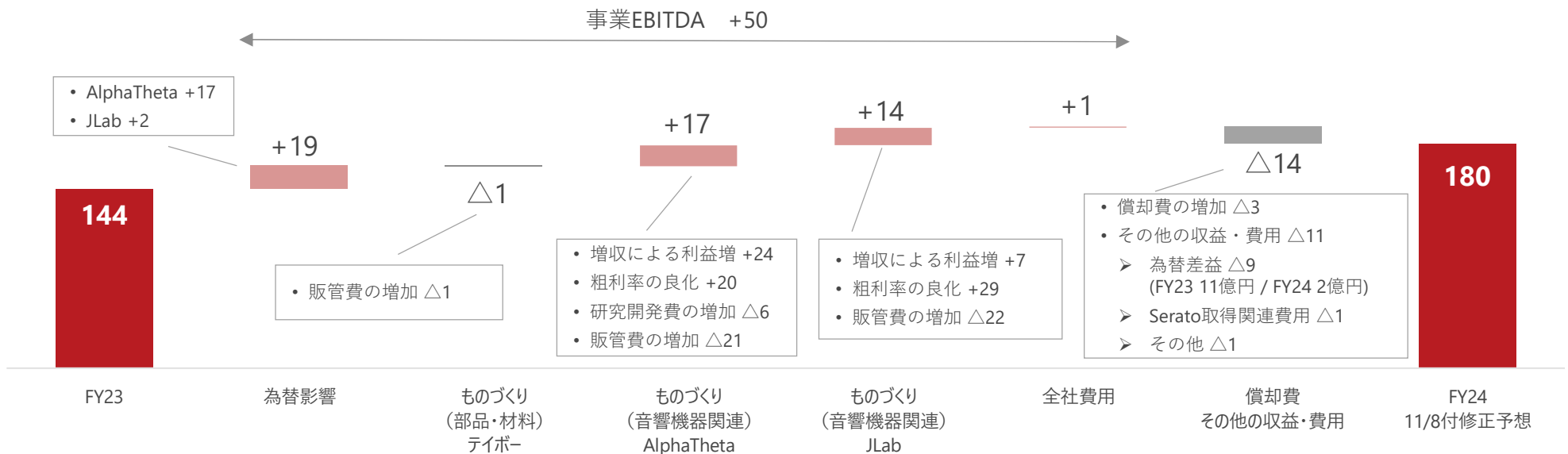


単位：億円

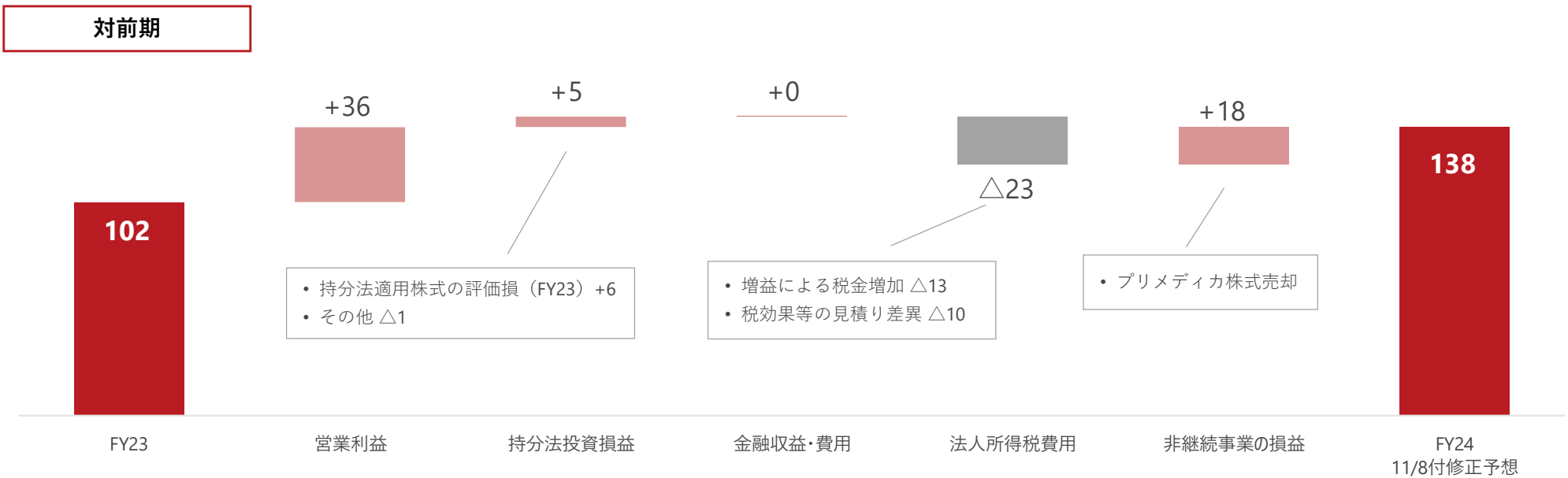
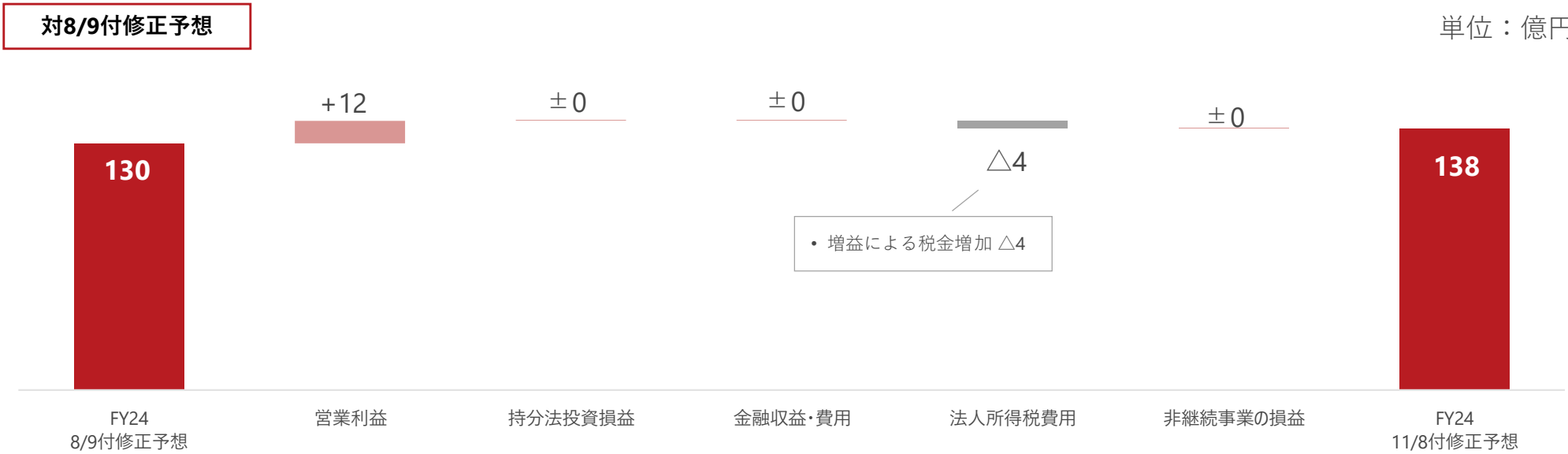
対8/9付修正予想



対前期



単位：億円



Contents

1. FY24 3Q累計連結業績
2. FY24 通期連結業績予想
3. トピック

2024年3Qの各社トピックスは下記のとおり

■ ノーリツ鋼機

- ・ 健康企業宣言「宣言の証」取得

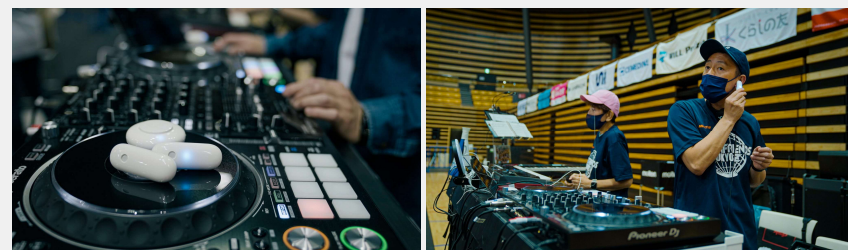
※健康企業宣言とは
健康優良企業を目指して、企業全体で健康づくりに取り組むことを宣言し、一定の成果を上げた場合は「健康優良企業」として認定される制度です

■ テイボー

- ・ 2025年4月1日より、MIM事業を浜松メタルワークス株式会社として分割し、テイボー及び浜松メタルワークスは、テイボーホールディングス株式会社の子会社として発足することをリリース

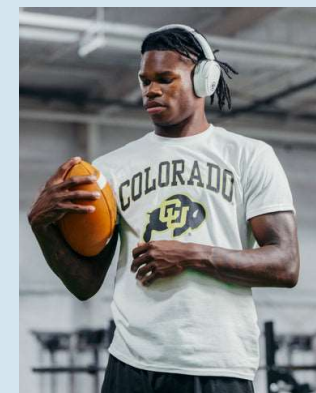
■ AlphaTheta

- ・ 「視覚と振動をつかった新しいDJ体験」が Forbes Xtreprenuer AWARD 2024 ノミネート



■ JLab

- ・ 米国でパートナーシップ、メイン協賛を行うカレッジスポーツのフットボールシーズンが開幕



Appendix

為替の各事業への影響について

- 米ドル及びユーロ取引が多いAlphaTheta及びJLabで影響あり
- 円安はグループ全体では営業利益プラスの影響

概要

テイボー

- グローバルで販売及び仕入ともに円貨取引が基本のため**対米ドル、対ユーロともに影響は僅少**

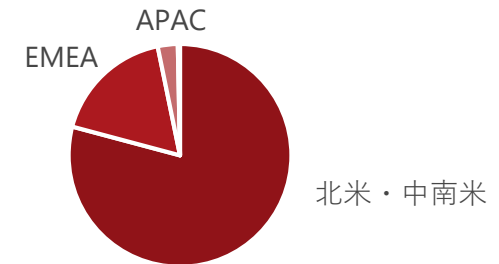
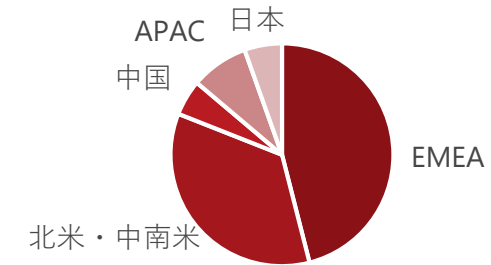
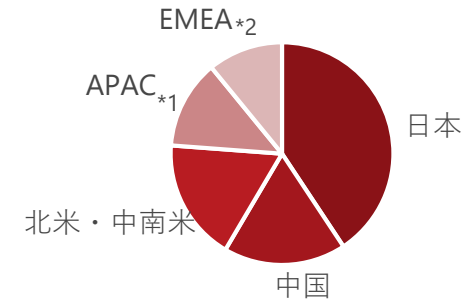
AlphaTheta

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- EMEAの売上収益が大きいため、**対ユーロで円安は利益プラス**
- 北米を中心とする米ドルでの売上収益が仕入をやや下回るため、**対米ドルで円安は利益マイナス**

JLab

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- 米国の売上収益が大きいため、**対米ドルで円安は利益プラス**
- 米国以外は売上収益がまだ小さいため影響は軽微

FY23 地域別売上収益構成比



*1 APACは、アジア、オーストラリア（日本、中国を除く）

*2 EMEAは、ヨーロッパ、中東、アフリカ

為替の通期連結業績への影響は以下のとおり

※2024年11月8日更新

為替レート（平均）の1円円安による影響額

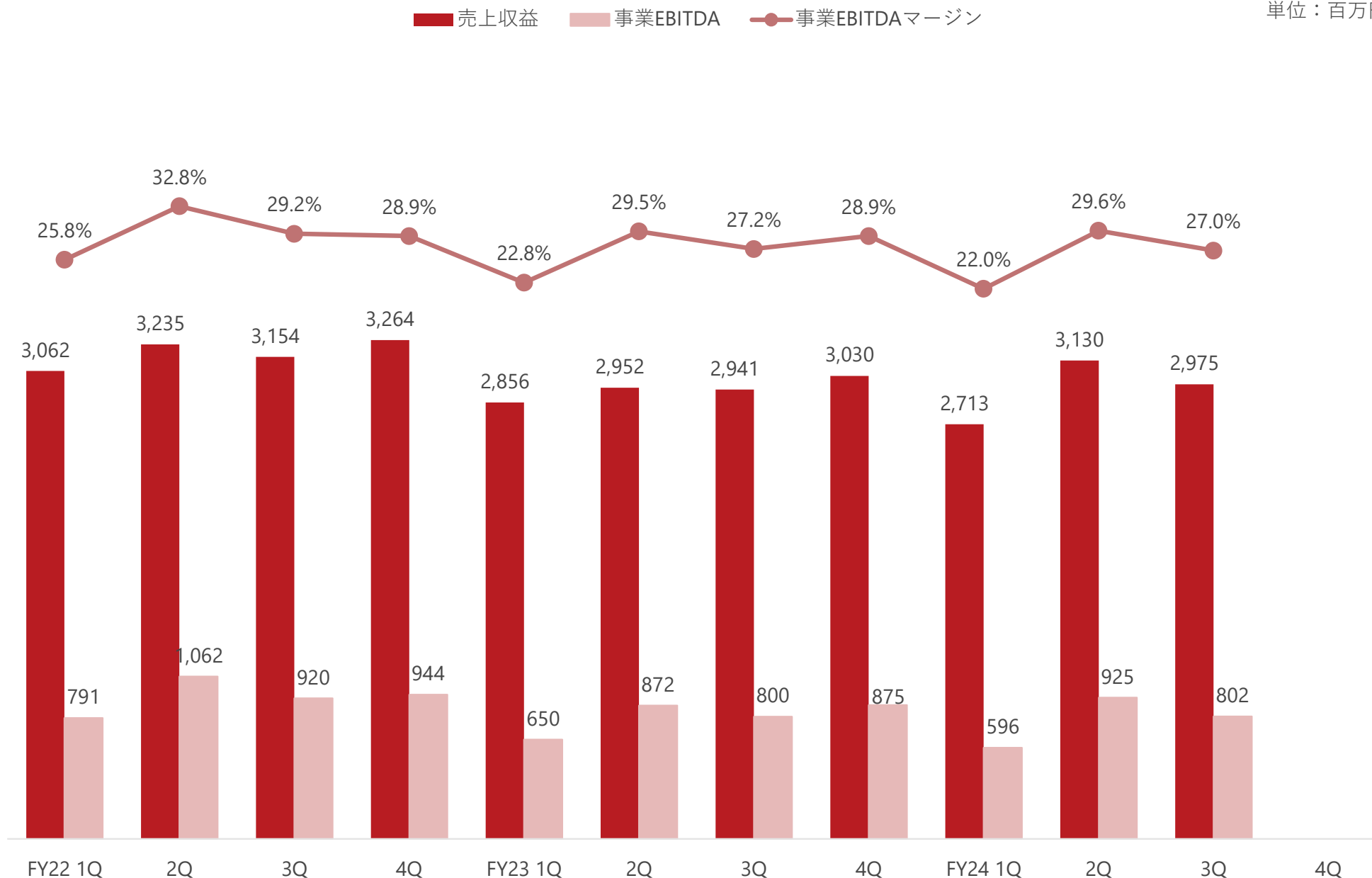
通貨	FY24予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA	営業利益
米ドル	149.7円	+3.7億円	+0.1億円	+0.1億円
ユーロ	162.8円	+1.6億円	+1.4億円	+1.4億円

為替レート（期末）の1円円安による影響額

通貨	FY24予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA	営業利益
米ドル	145.0円	-	-	+0.5億円
ユーロ	158.0円	-	-	+0.9億円

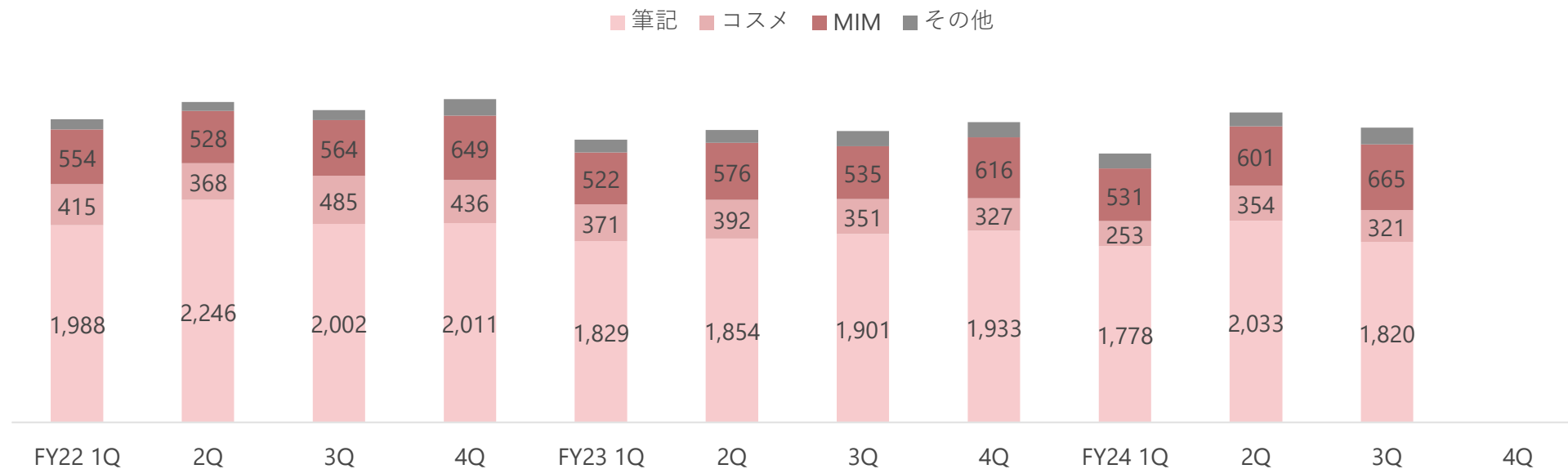
■ 四半期推移－ものづくり（部品・材料）/テイボー

単位：百万円



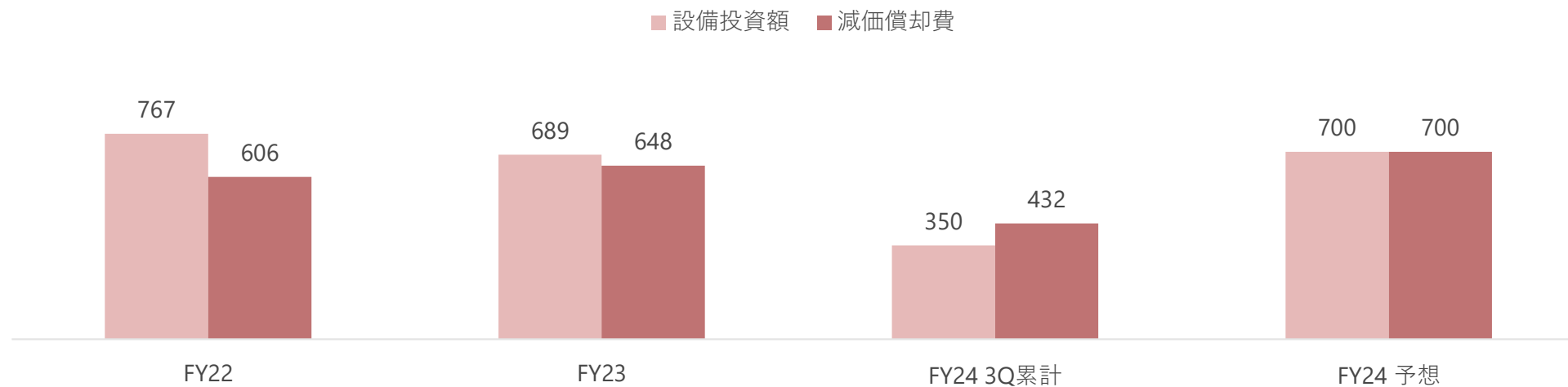
カテゴリ別売上収益推移

単位：百万円



設備投資・減価償却費^{*1}

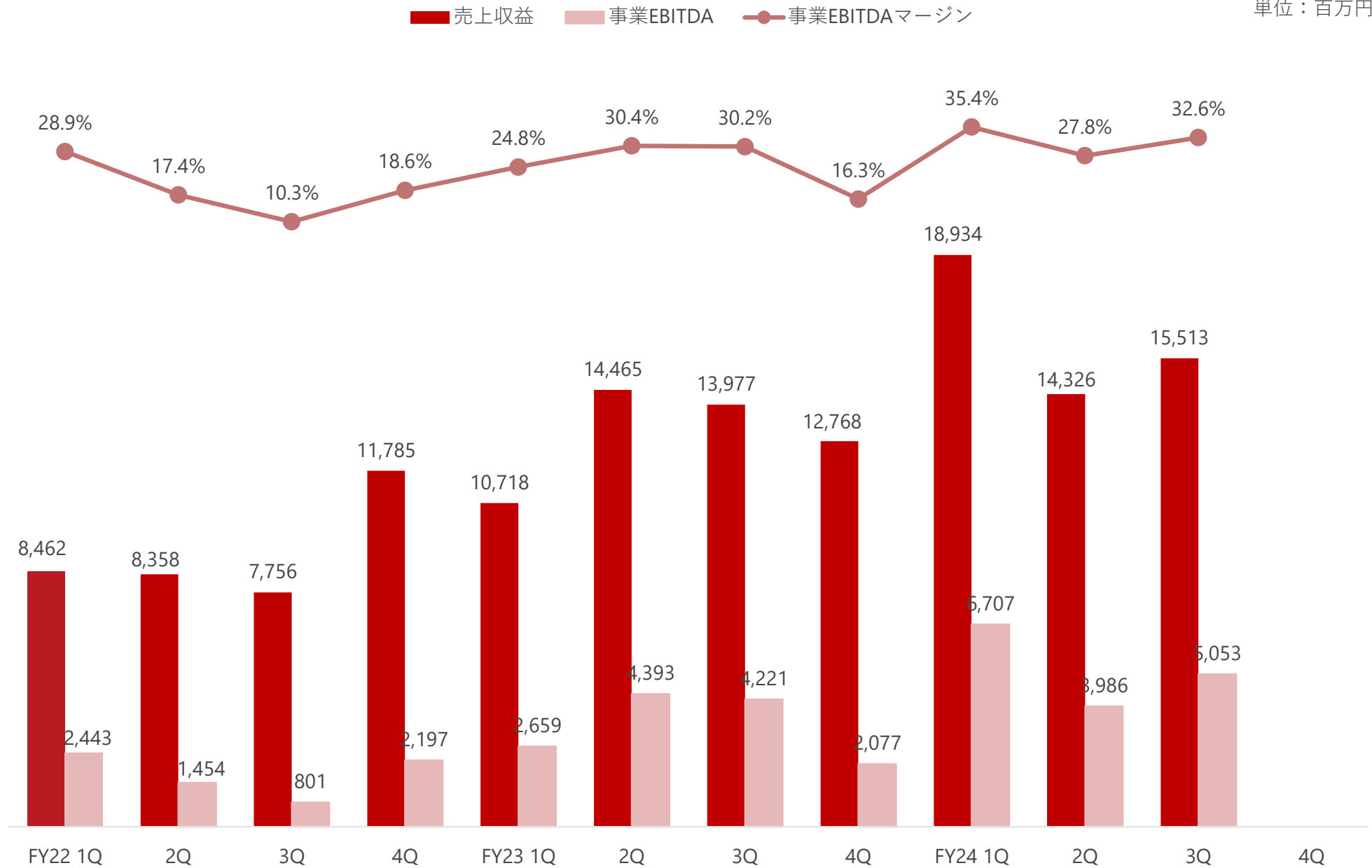
単位：百万円



*1 使用権資産に係る償却費及びPPAの償却費を除く

■ 四半期推移－ものづくり（音響機器関連）/AlphaTheta

単位：百万円

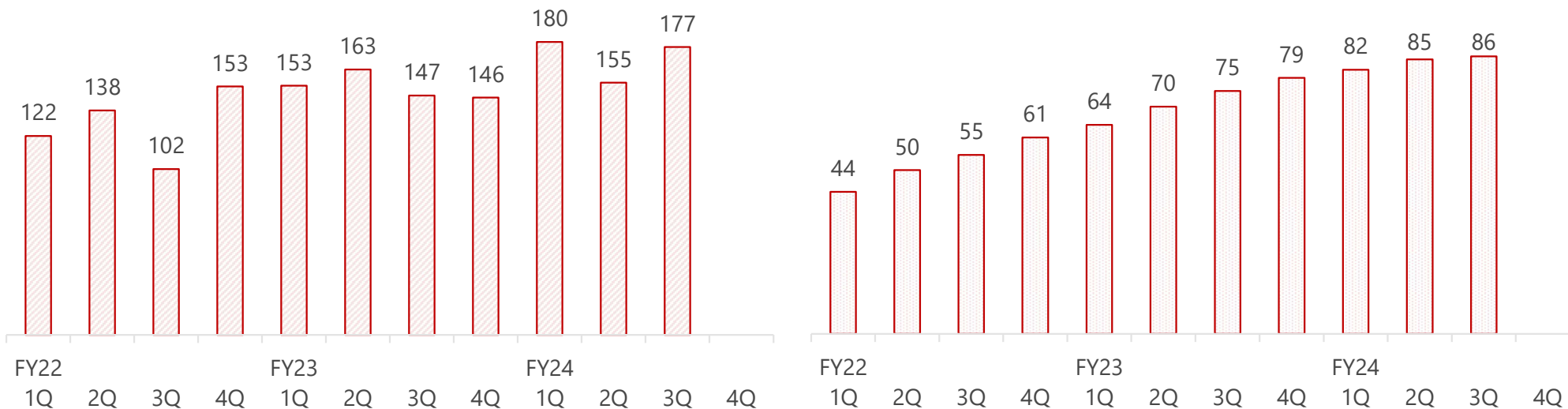


DJ機器出荷台数

単位：千台

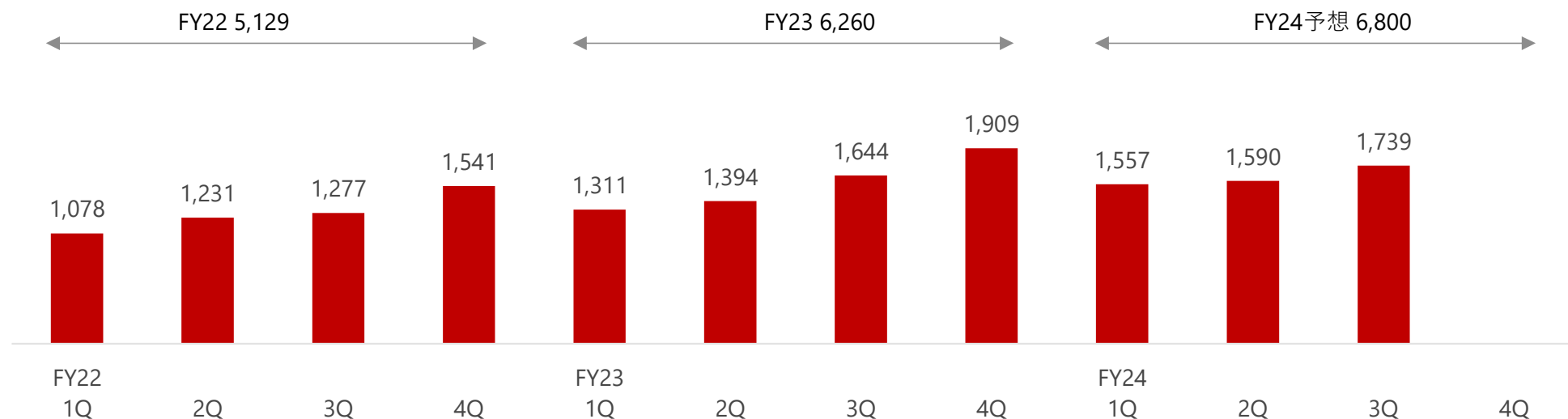
DJ向けアプリケーションMAU

単位：万人

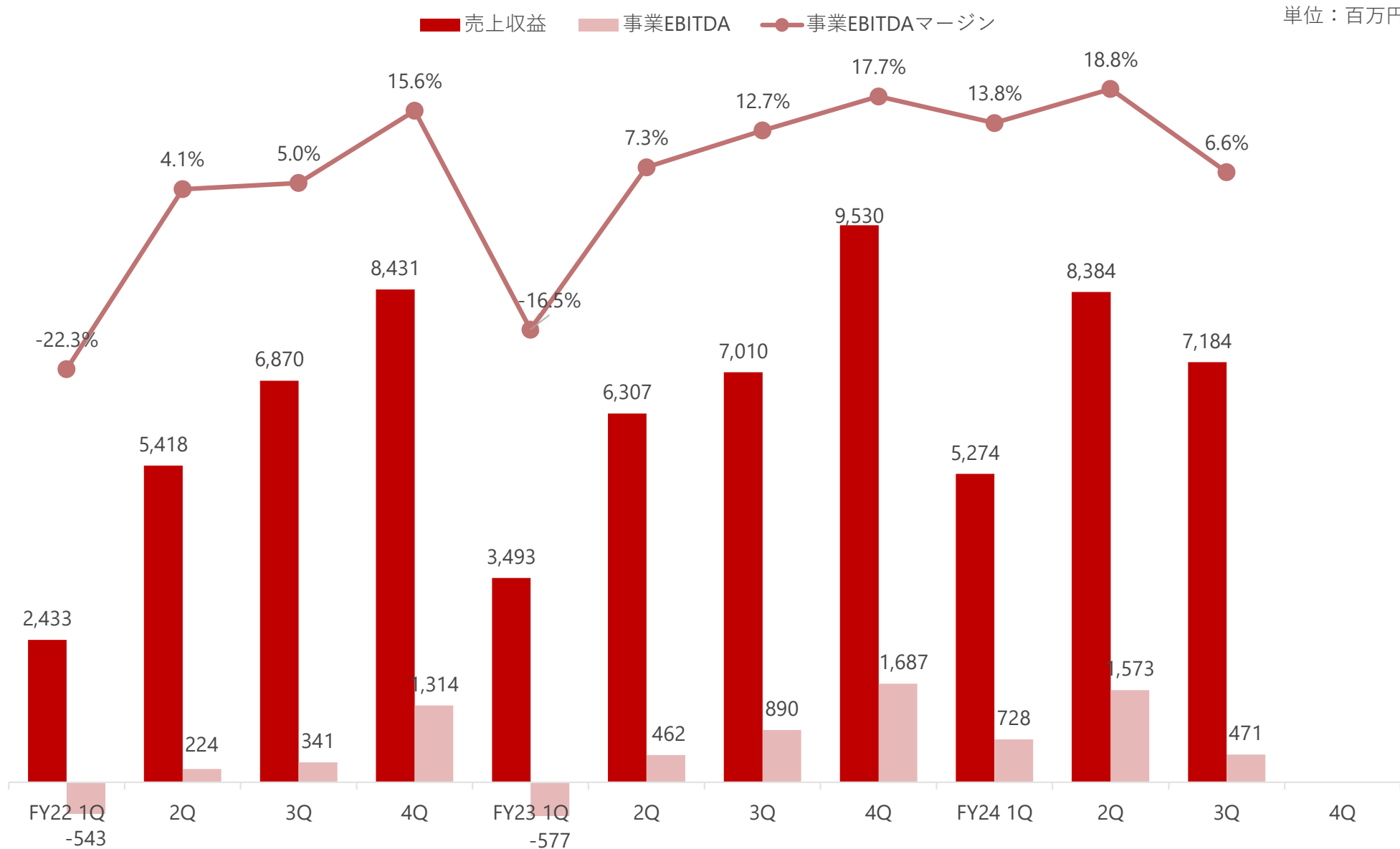


研究開発費

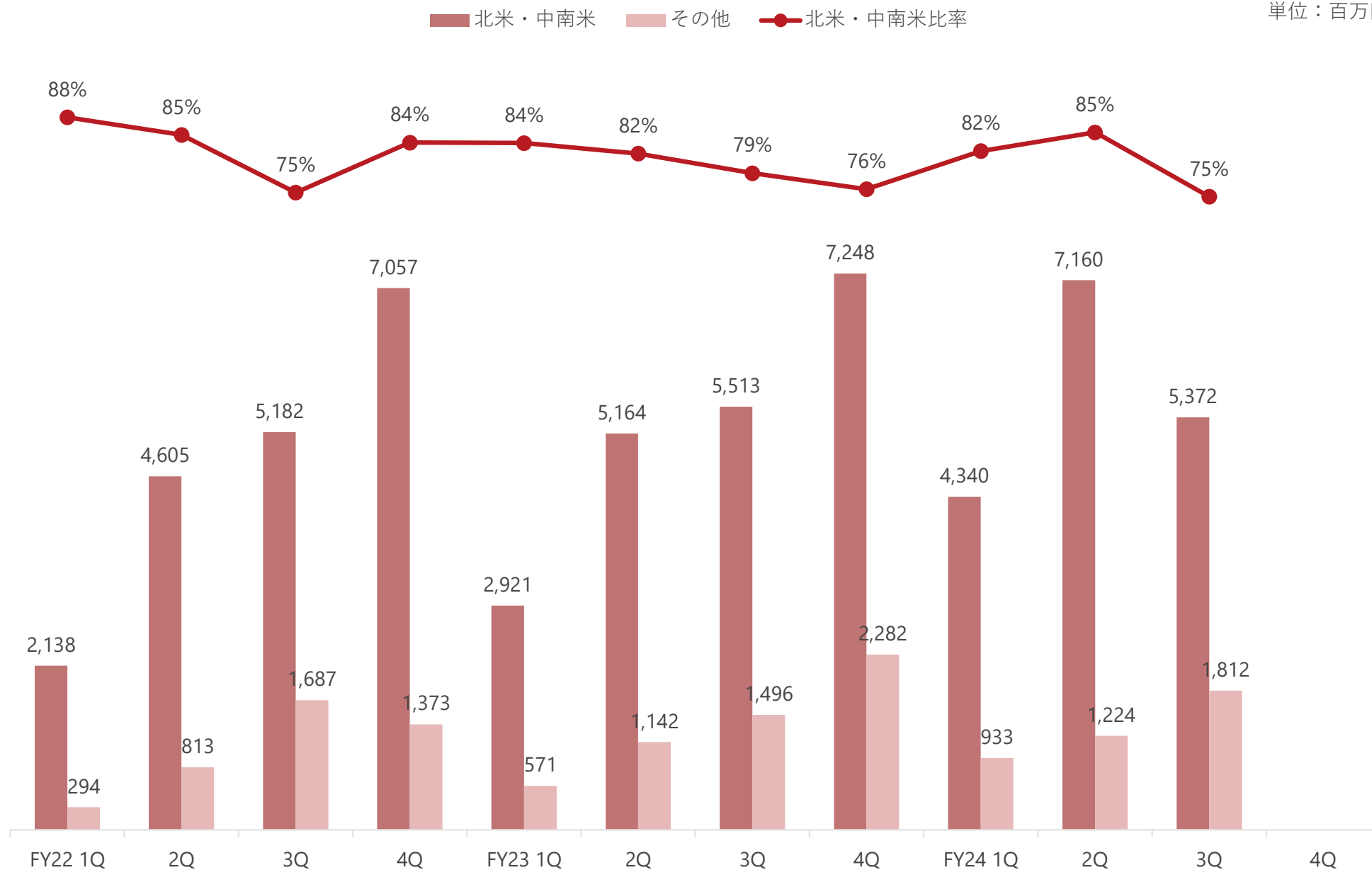
単位：百万円



■ 四半期推移－ものづくり（音響機器関連）/JLab



単位：百万円



社名 ノーリツ鋼機株式会社（プライム市場：7744）

代表者 代表取締役CEO 岩切 隆吉

創業 1951(昭和26)年6月

設立 1956(昭和31)年6月

資本金 7,025,302,000円

本社 東京都港区麻布十番1-10-10 ジュールA 5階

取締役 岩切 隆吉

横張 亮輔

村瀬 和絵

取締役
(監査等委員)

太田 晶久

伊庭野 基明

高田 剛

部品・材料

先端及び極小部材の製造事業 テイボー株式会社

会社名 テイボー株式会社
代表者 代表取締役社長 河内清志
資本金 50百万円
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野、先端部材、MIM製造部品、コスメ用ペン先部材（合繊芯、プラスチック芯、ポリブチレンテレフタレート樹脂（PBT）ブラシなど）等の製造・販売

■グループ会社

泰宝制筆材料(常熟)有限公司（テイボー100%子会社）
・マーキングペン先部品の中国（江蘇州）
における製造・販売拠点

株式会社 soliton corporation（テイボー100%子会社）
・コスメ用ペン先部材の製造・販売

音響機器関連

音響、音楽制作機器の商品開発事業 AlphaTheta株式会社

会社名 AlphaTheta株式会社
（旧Pioneer DJ株式会社）
代表者 代表取締役社長 片岡芳徳
資本金 1億円（2021年12月31日現在）
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・及び販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

■販売子会社

AlphaTheta EMEA Limited
AlphaTheta Music Americas, Inc.
AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.
AlphaTheta SG Pte. Ltd.

音響機器関連

パーソナルオーディオデバイス製品事業 PEAG, LLC dba JLab

会社名 PEAG, LLC dba JLab
代表者 Winthrop Cramer, CEO
資本金 19M USD（2023年3月31日現在）
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 パーソナルオーディオデバイス
およびテクノロジー製品の設計及び販売